

第4章 新時代に対応した独自の視点

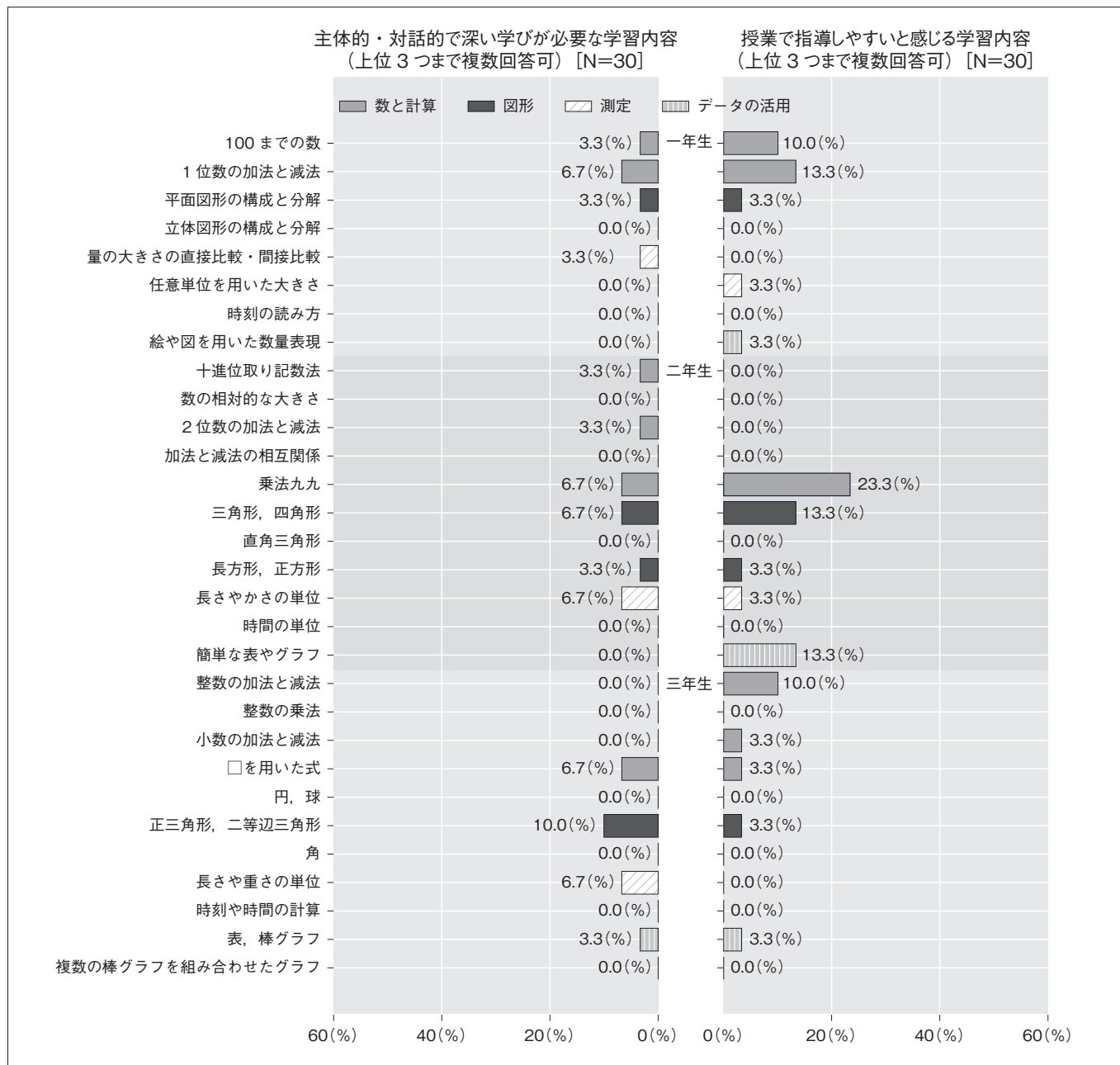
DATA4-① 主体的・対話的で深い学びが実践できている（実施が必要だと思われる）学習内容との関連性について（小学校算数）

「主体的・対話的で深い学びが必要な学習内容」は、上位3つまで複数回答可で、五年生の「三角形・平行四辺形・ひし形・台形の面積」が9人（30.0%）であった。その理由として、9人のうち8人（88.9%）が「多様な考え方があり話し合いやすい」を選択した。

「授業での指導のしやすさ」と「主体的・対話的で深い学びの必要性」に関連性が見込まれる小学校算数の学習内容として統計的に有意なものはみられなかった。

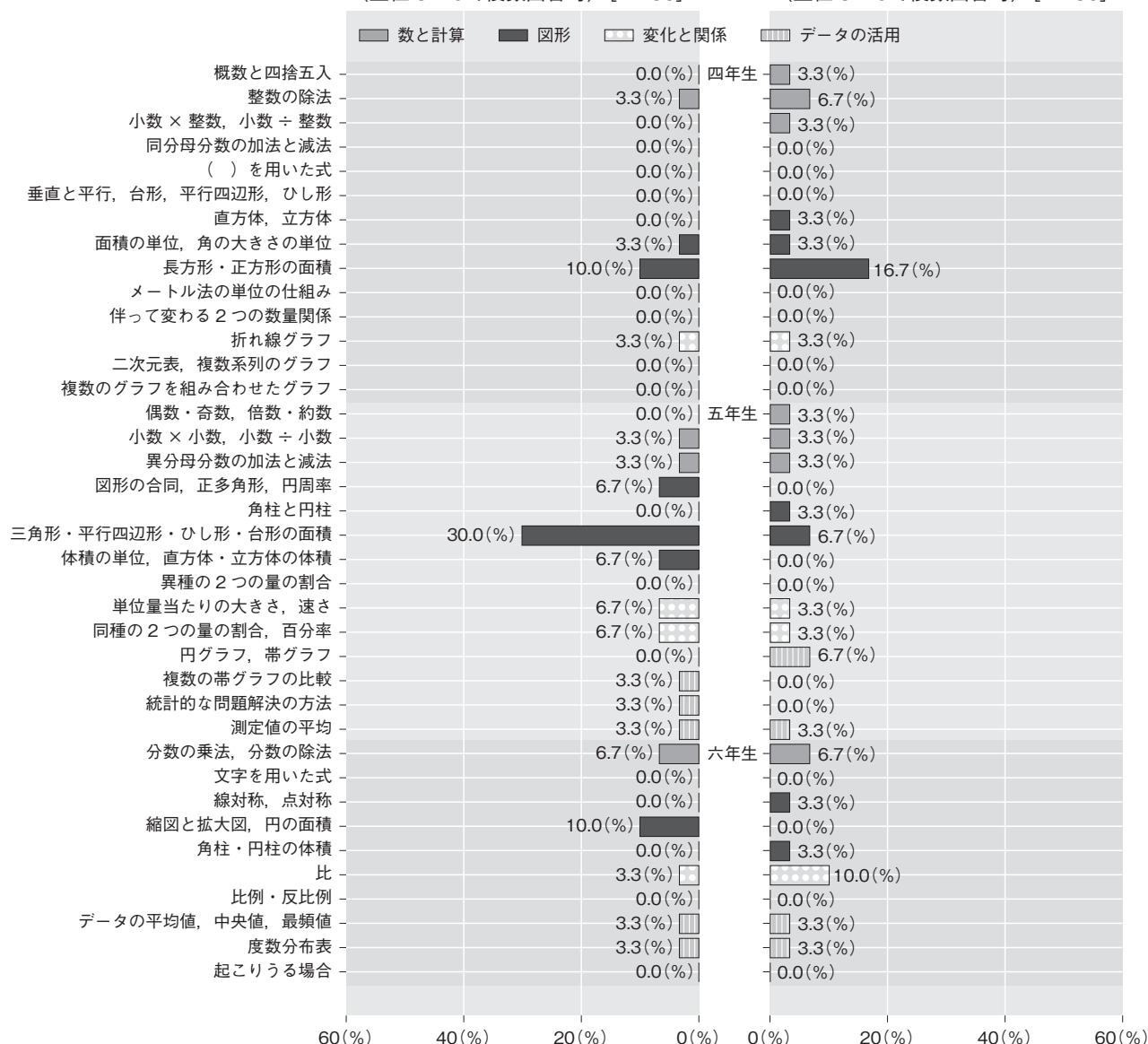
Q 授業で指導しやすい（児童生徒が理解しやすい）と感じる学習内容とその理由を挙げてください。（小学校算数）（D-2）

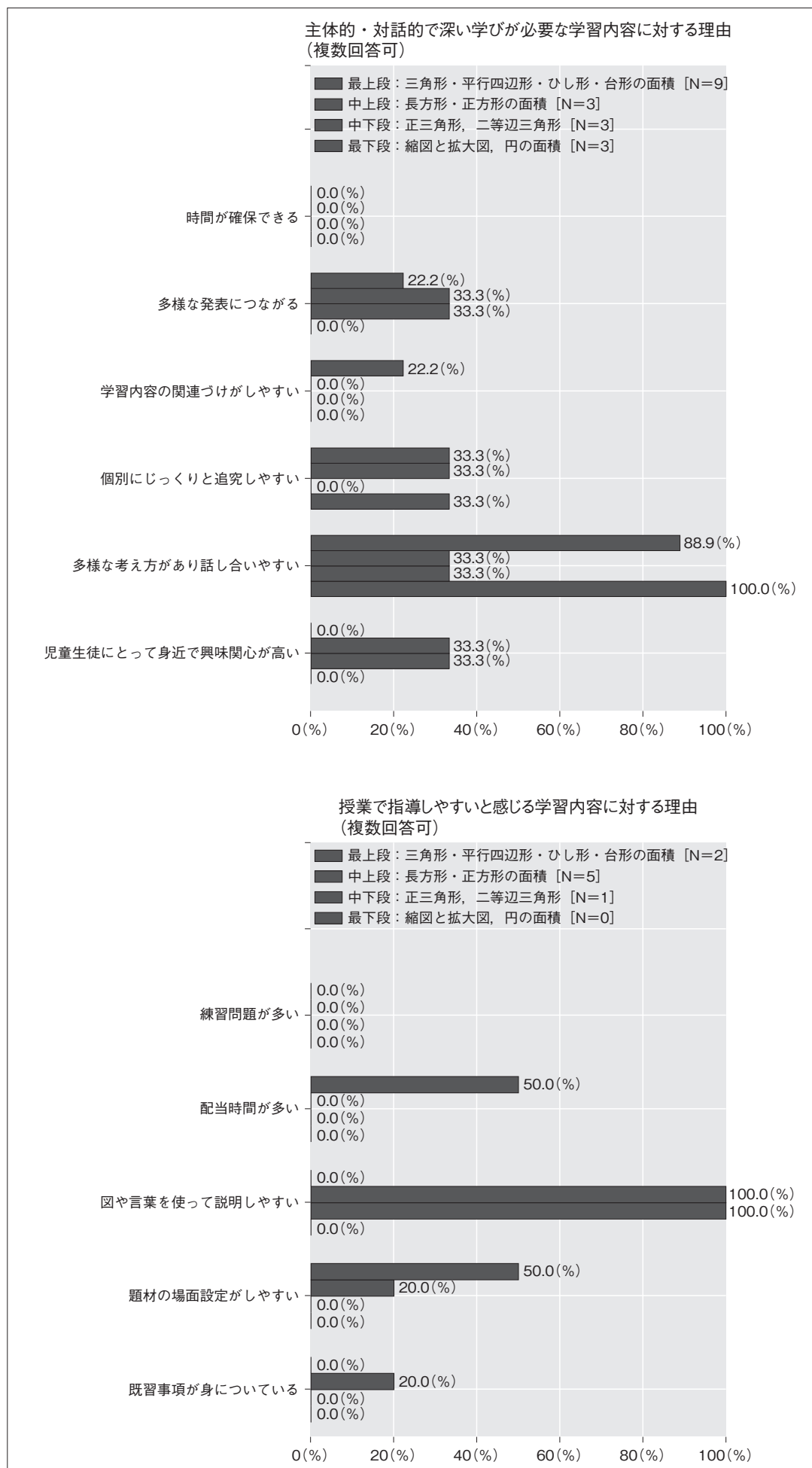
Q 既に主体的・対話的で深い学びが実践できている学習内容、またこれから実施が必要だと思われる学習内容とその理由を挙げてください。（小学校算数）（D-6）



主体的・対話的で深い学びが必要な学習内容
(上位 3 つまで複数回答可) [N=30]

授業で指導しやすいと感じる学習内容
(上位 3 つまで複数回答可) [N=30]





※このページの棒グラフの様子は53, 54ページのグラフの凡例に記載されている領域の模様に対応しています。

DATA4-② 主体的・対話的で深い学びが実践できている（実施が必要だと思われる）学習内容との関連性について（中学校数学）

「主体的・対話的で深い学びが必要な学習内容」は、上位3つまで複数回答可で、「ヒストグラム、相対度数、累積度数」が5人（18.5%）、「平行線と角、多角形の角」が4人（14.8%）であった。その理由として、「ヒストグラム、相対度数、累積度数」では、5人のうち3人（60.0%）が「多様な考え方があり話し合いやすい」を選択した。また、「平行線と角、多角形の角」では、4人全員（100%）が「多様な考え方があり話し合いやすい」を選択した。

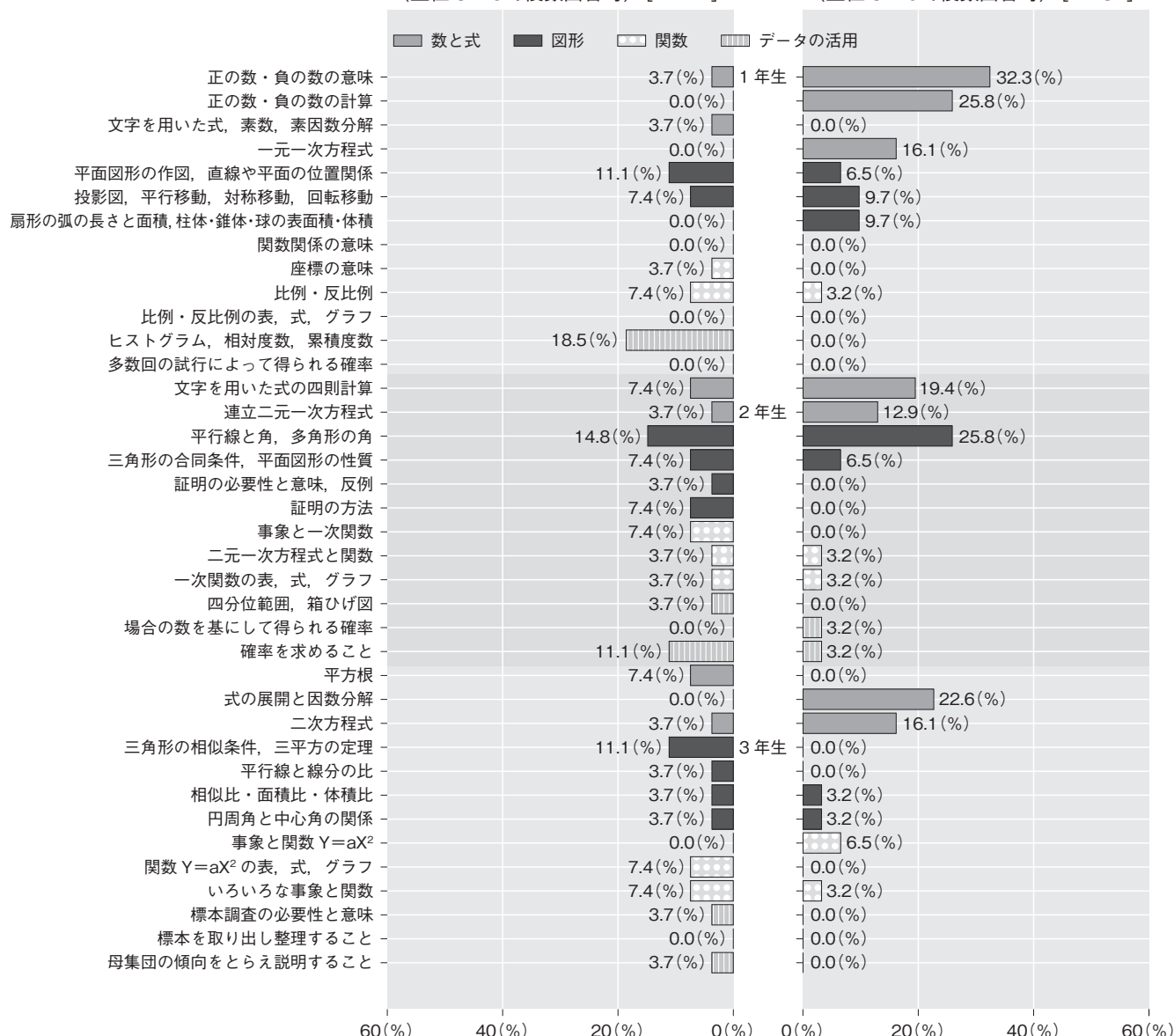
「授業での指導のしやすさ」と「主体的・対話的で深い学びの必要性」に関連性が見込まれる中学校数学の学習内容として統計的に有意なものはみられなかった。

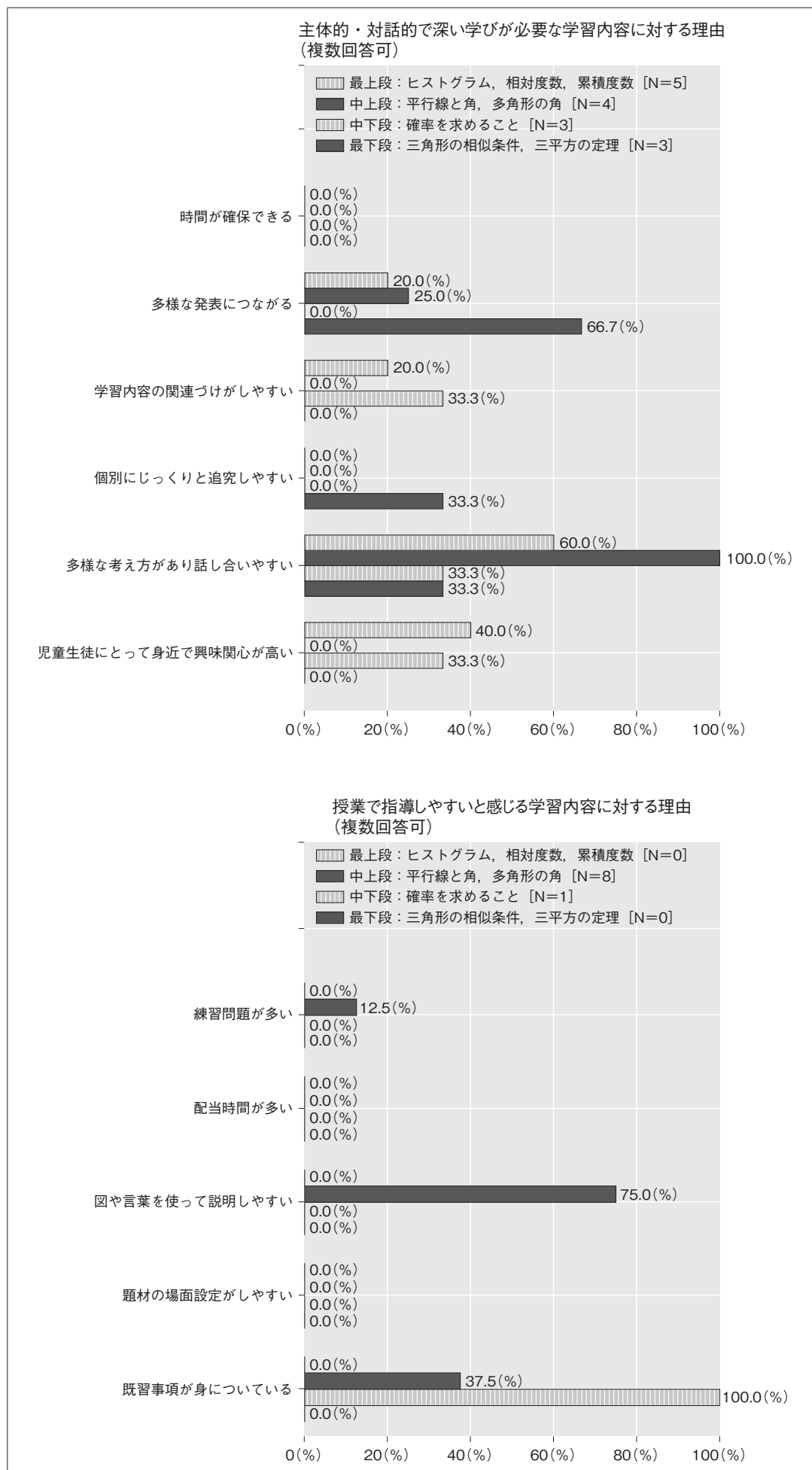
Q 授業で指導しやすい（児童生徒が理解しやすい）と感じる学習内容とその理由を挙げてください。（中学校数学）（D-2）

Q 既に主体的・対話的で深い学びが実践できている学習内容、またこれから実施が必要だと思われる学習内容とその理由を挙げてください。（中学校数学）（D-6）

主体的・対話的で深い学びが必要な学習内容
(上位 3 つまで複数回答可) [N=27]

授業で指導しやすいと感じる学習内容
(上位 3 つまで複数回答可) [N=31]





※このページの棒グラフの模様は、57ページのグラフの凡例に記載されている領域の模様に対応しています。

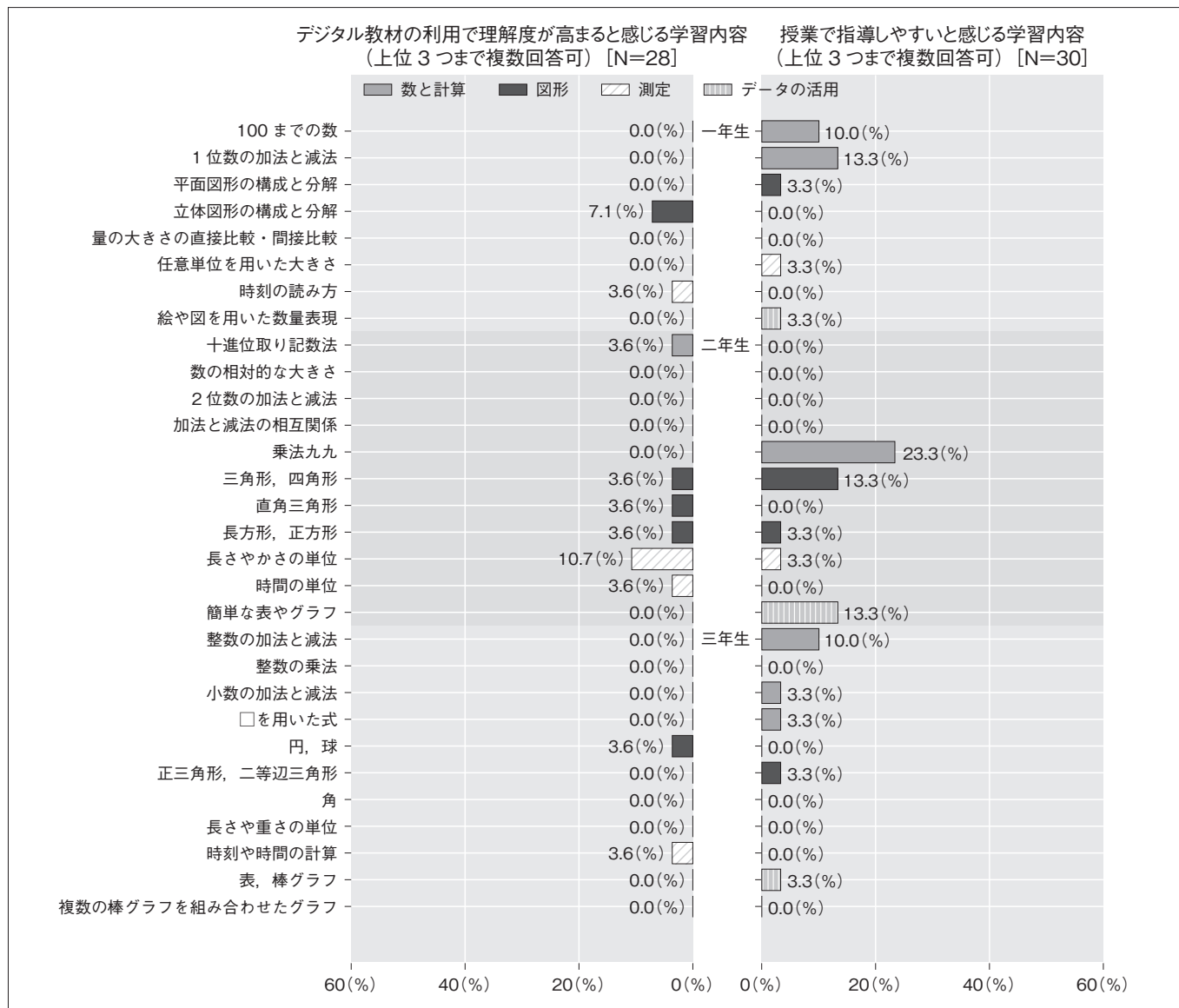
DATA4-③ デジタル教材の利用で理解度が高まると感じる学習内容との関連性について（小学校算数）

「デジタル教材の活用が有効な学習内容」は、上位3つまで複数回答可で、六年生の「縮図と拡大図、円の面積」が9人（32.1%）、「線対称、点対称」が8人（28.6%）であった。有効な理由として、「縮図と拡大図、円の面積」では、9人のうち6人（66.7%）が「図や音声や動画を使って説明しやすい」を選択し、「線対称、点対称」では8人のうち4人（50.0%）が「図や音声や動画を使って説明しやすい」を選択した。

「授業での指導のしやすさ」と「デジタル教材の利用で理解度が高まること」に関連性が見込まれる小学校算数の学習内容として統計的に有意なものはみられなかった。

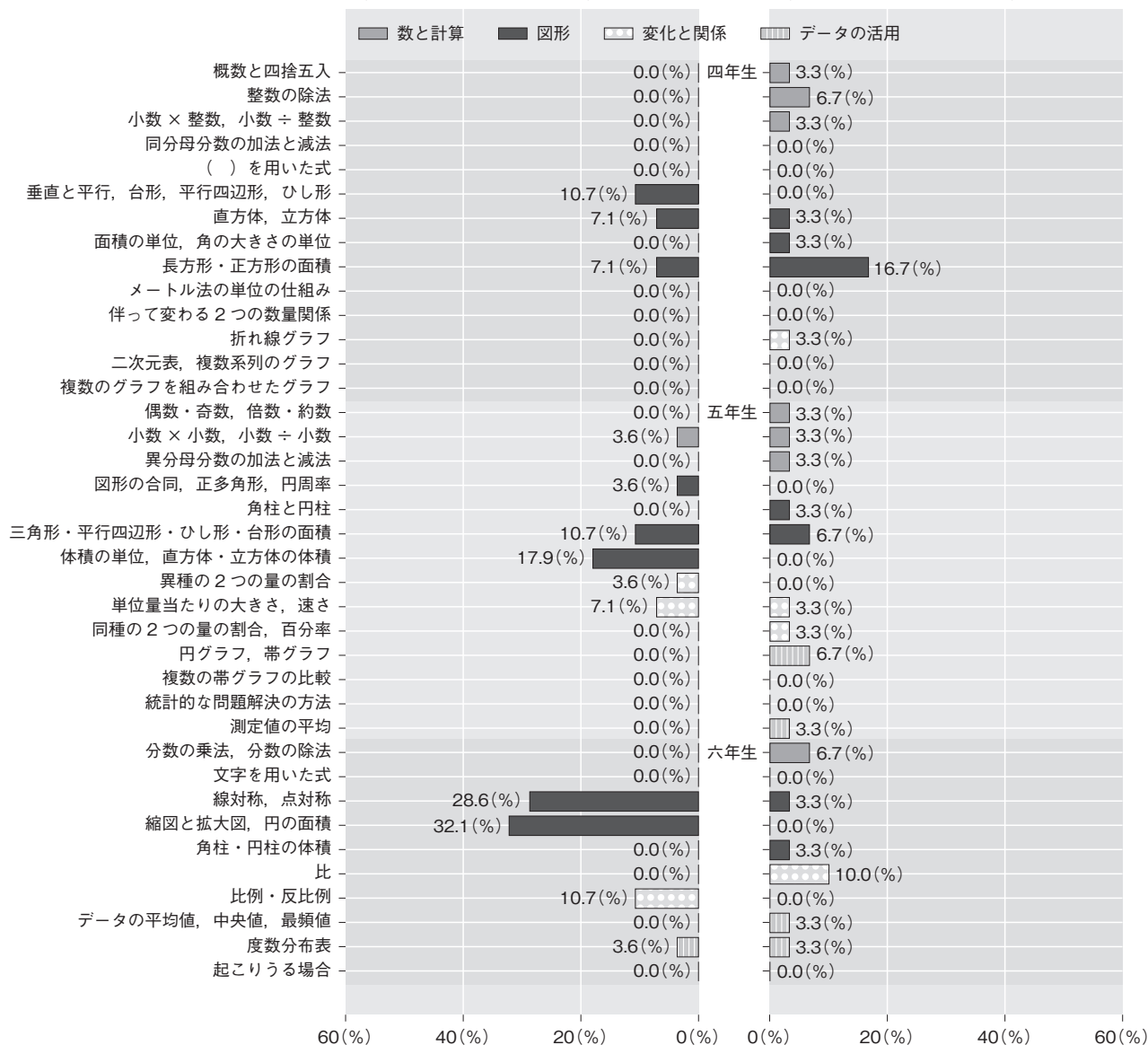
Q 授業で指導しやすい（児童生徒が理解しやすい）と感じる学習内容とその理由を挙げてください。（小学校算数）（D-2）

Q デジタル教材の利用で理解度が高まると感じる学習内容とその理由を挙げてください。（小学校算数）（D-9）

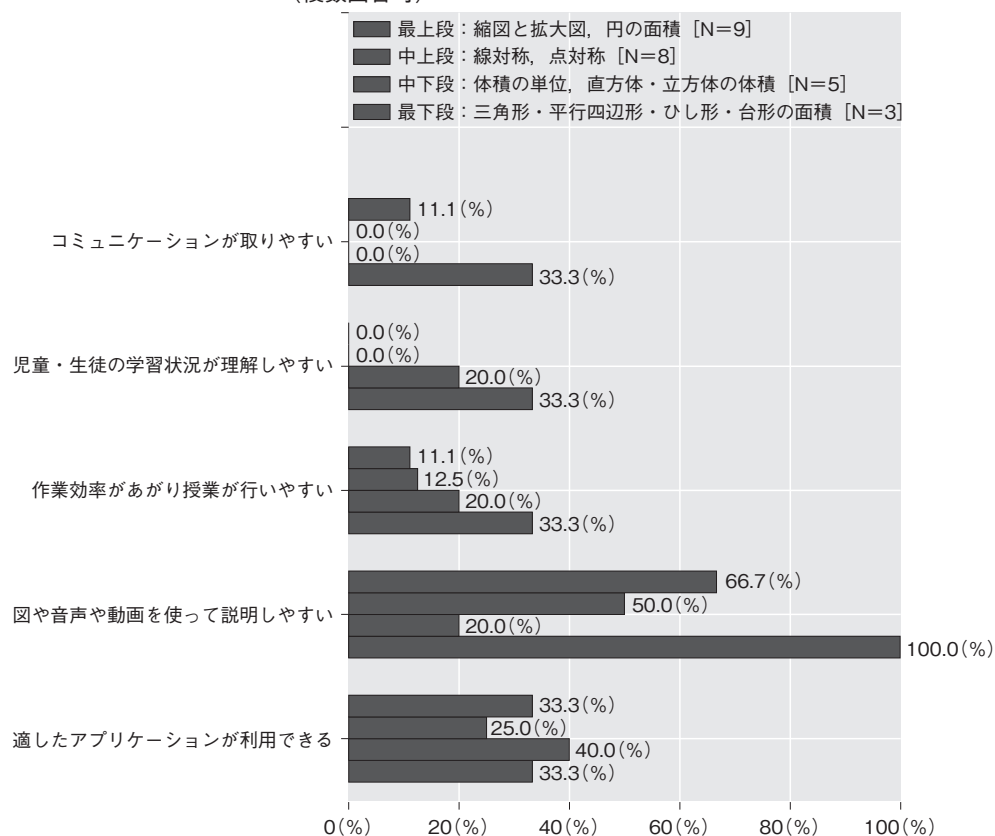


デジタル教材の利用で理解度が高まると感じる学習内容
(上位 3 つまで複数回答可) [N=28]

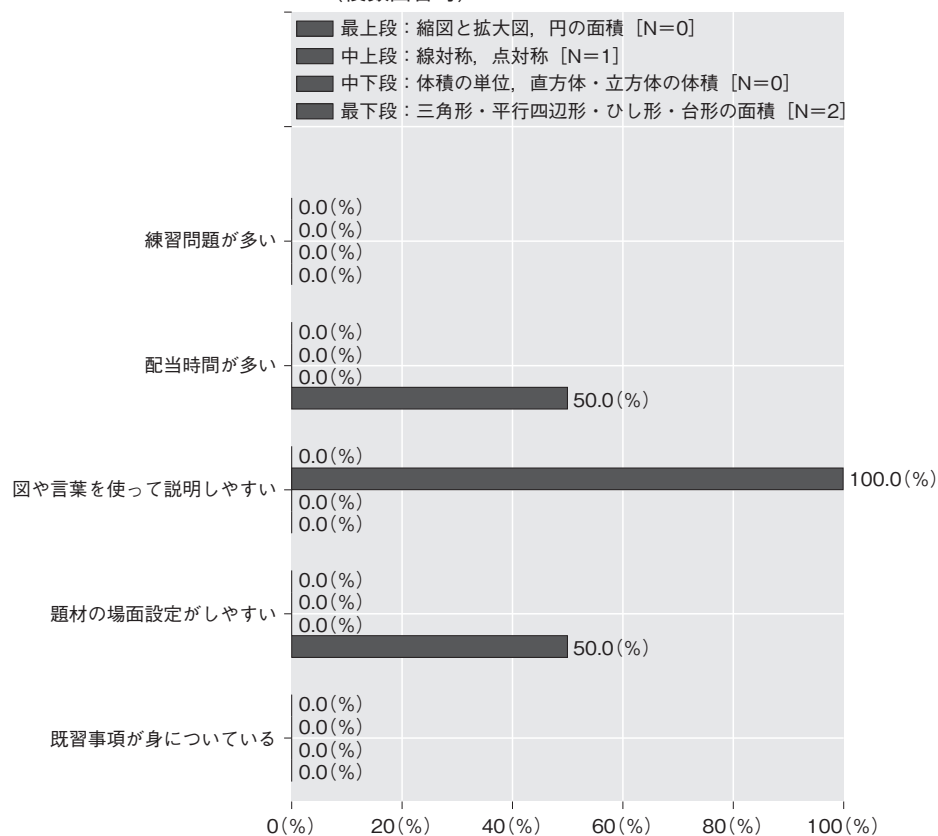
授業で指導しやすいと感じる学習内容
(上位 3 つまで複数回答可) [N=30]



デジタル教材の利用で理解度が高まると感じる学習内容に対する理由
(複数回答可)



授業で指導しやすいと感じる学習内容に対する理由
(複数回答可)



※このページの棒グラフの模様は、60、61ページのグラフの凡例に記載されている領域の模様に対応しています。

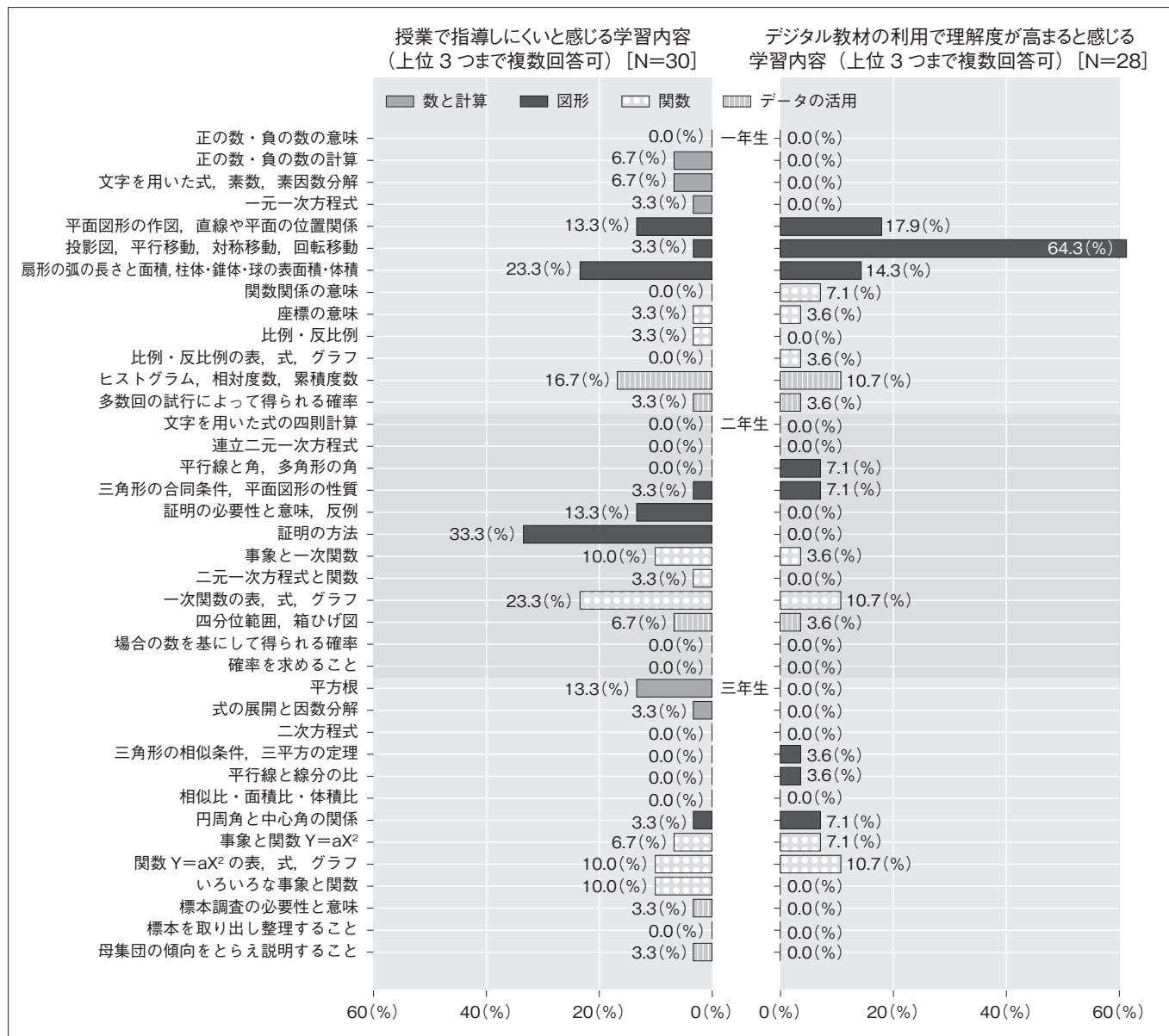
DATA4-④ デジタル教材の利用で理解度が高まると感じる学習内容との関連性について（中学校数学）

「中学校数学でデジタル教材の活用が有効な学習内容」は、上位3つまで複数回答可で、一年生の「投影図，平行移動，対称移動，回転移動」が18人（64.3%），「平面図形の作図，直線や平面の位置関係」が5人（17.9%）であった。有効な理由として，「投影図，平行移動，対称移動，回転移動」では，18人のうち12人（66.7%）が「図や音声や動画を使って説明しやすい」を選択し，「平面図形の作図，直線や平面の位置関係」では，5人のうち4人（80.0%）が「図や音声や動画を使って説明しやすい」を選択した。

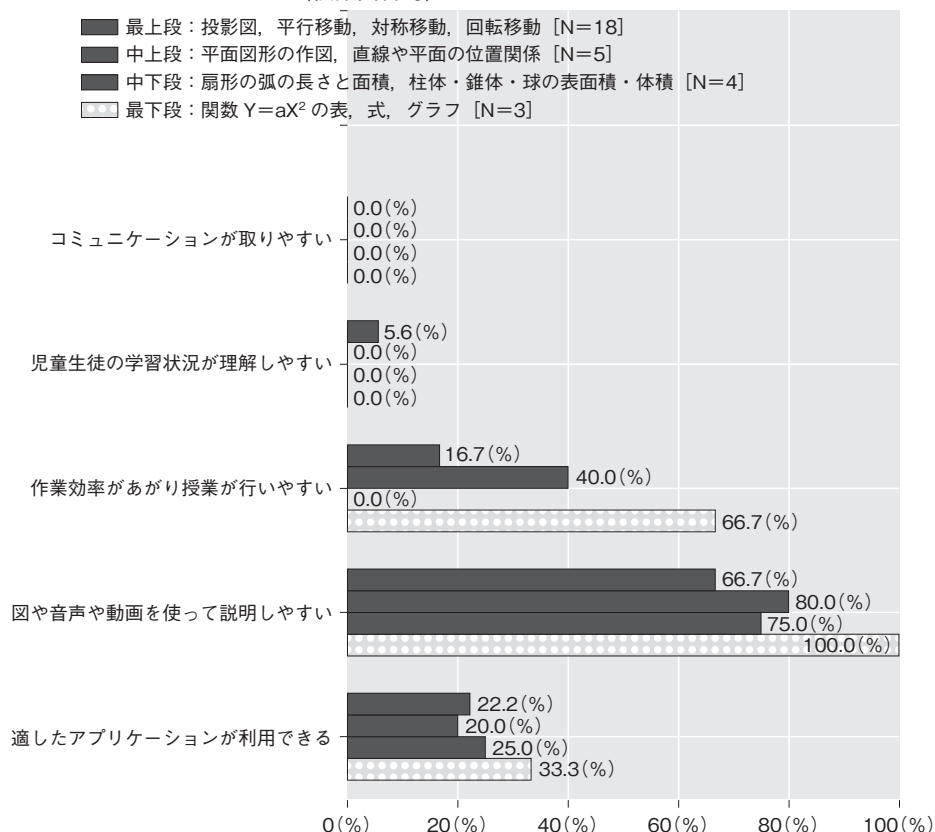
『授業での指導にくさ』と『デジタル教材の利用で理解度が高まること』に関連性が見込まれる中学校数学の学習内容」として統計的に有意なものはみられなかった。

Q 授業で指導しにくい（児童生徒が理解しにくい）と感じる学習内容とその理由を挙げてください。（中学校数学）（D-3）

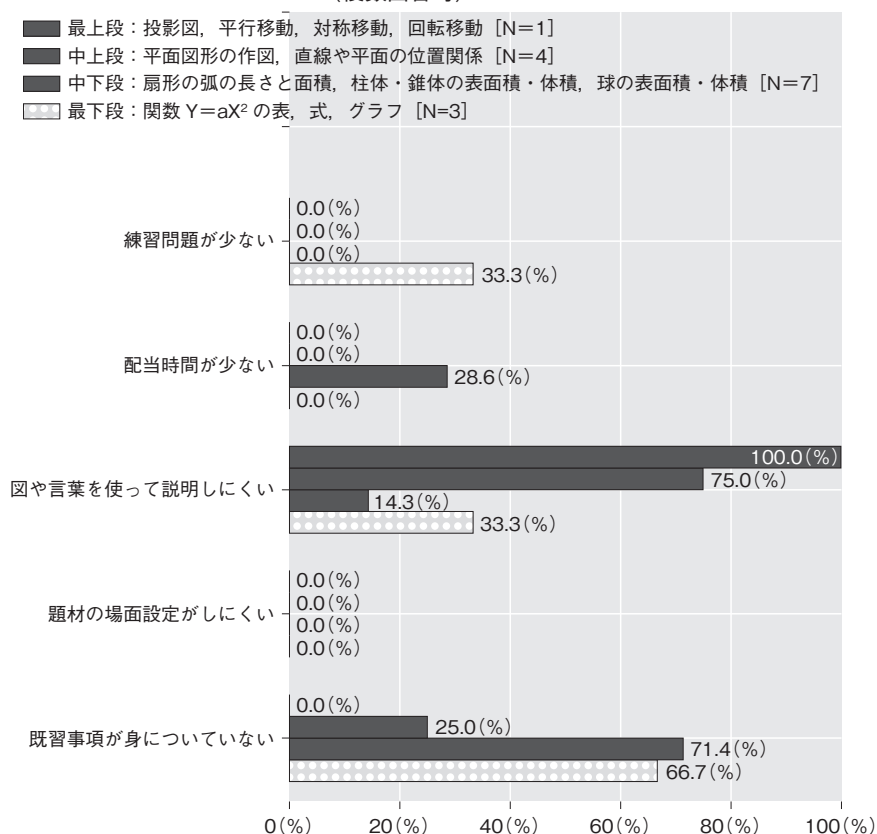
Q デジタル教材の利用で理解度が高まると感じる学習内容とその理由を挙げてください。（中学校数学）（D-9）



デジタル教材の利用で理解度が高まると感じる学習内容に対する理由
(複数回答可)



授業で指導しにくいと感じる学習内容に対する理由
(複数回答可)



※このページの棒グラフの模様は、64ページのグラフの凡例に記載されている領域の模様に対応しています。

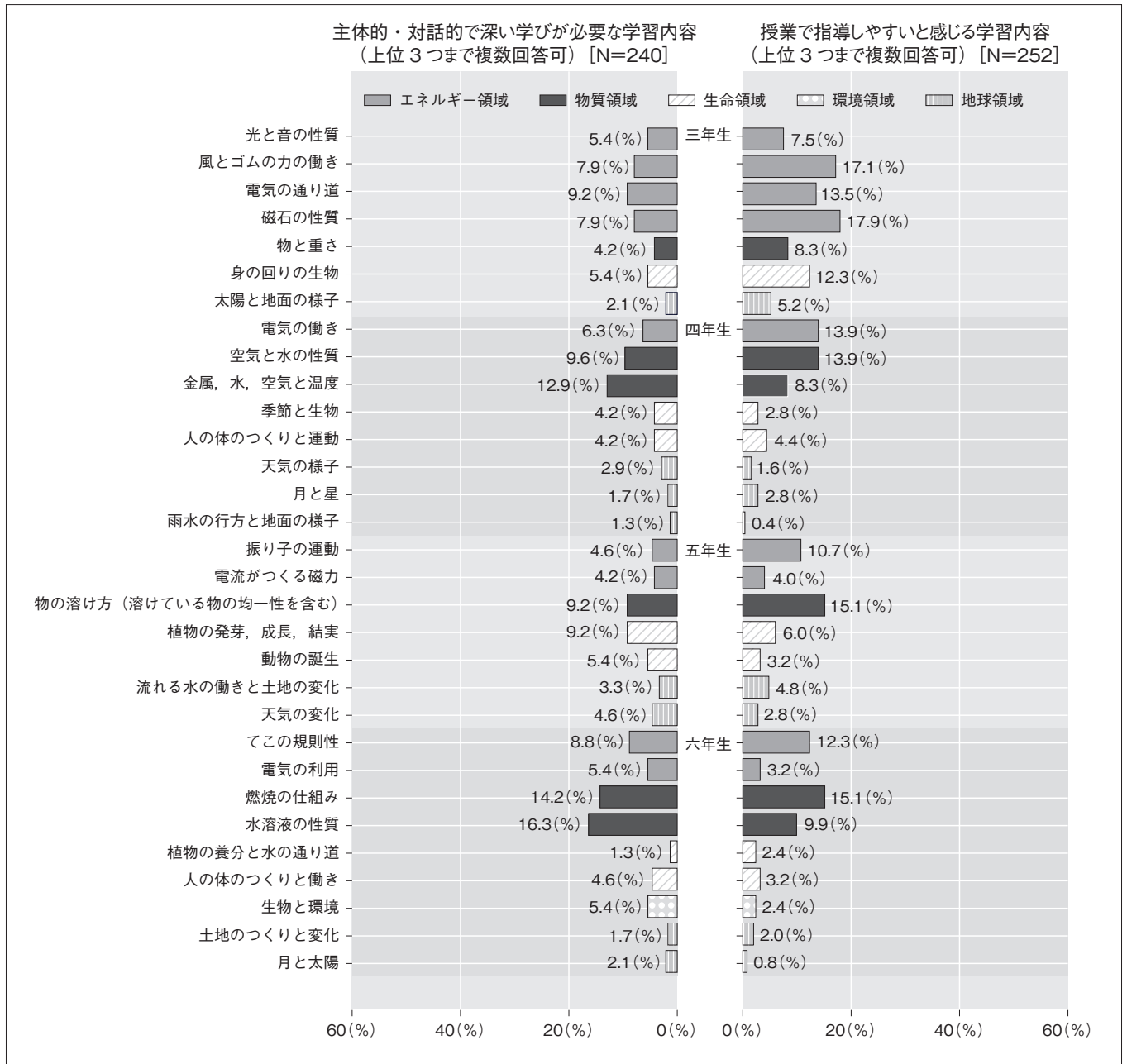
DATA4-⑤ 主体的・対話的で深い学びが実践できている（実施が必要だと思われる）学習内容との関連性について（小学校理科）

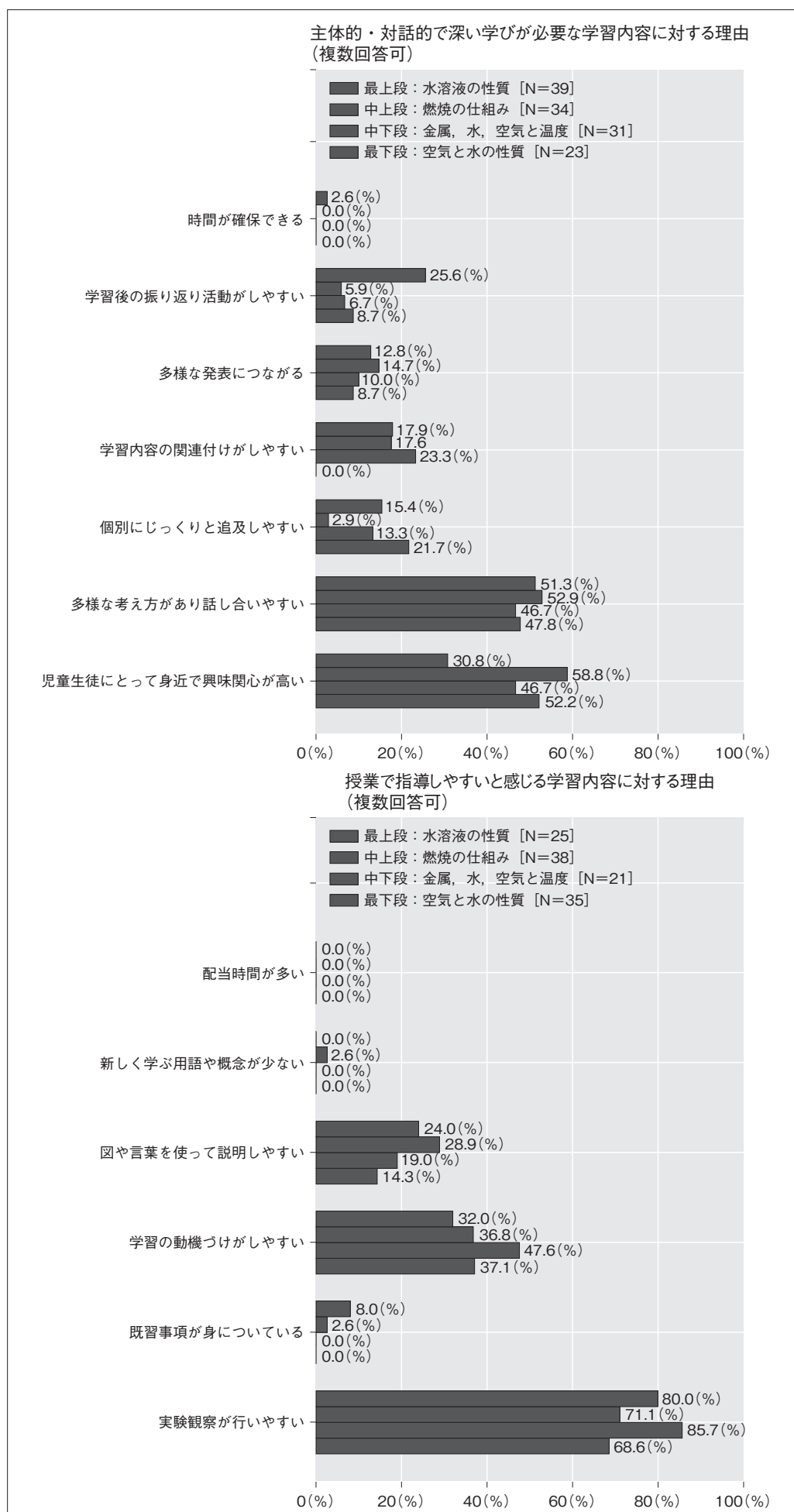
回答者数240人に対して反応率7.9%以上であった「小学校理科で主体的・対話的で深い学びが必要な学習内容」のうち、「水溶液の性質」が16.3%、「燃焼の仕組み」が14.2%、「金属、水、空気と温度」が12.9%、「空気と水の性質」が9.6%であった。その理由として、「水溶液の性質」では、回答者数39人のうち51.3%が「多様な考え方があり話し合いやすい」を選択し、30.8%が「児童生徒にとって身近で興味関心が高い」を選択した。「燃焼の仕組み」では、回答者数34人のうち58.8%が「児童生徒にとって身近で興味関心が高い」を選択し、52.9%が「多様な考え方があり話し合いやすい」を選択した。「金属、水、空気と温度」では、回答者数31人のうち46.7%が「多様な考え方があり話し合いやすい」及び「児童生徒にとって身近で興味関心が高い」を選択した。「空気と水の性質」では、回答者数23人のうち52.2%が「児童生徒にとって身近で興味関心が高い」を選択し、47.8%が「多様な考え方があり話し合いやすい」を選択した。したがって、物質領域の「水溶液の性質」、「燃焼の仕組み」、「金属、水、空気と温度」、「空気と水の性質」の全てで、「多様な考え方があり話し合いやすい」ことや「児童生徒にとって身近で興味関心が高い」ことが主体的・対話的で深い学びが実践できている（実施が必要だと思われる）主な理由となっていることがわかる。

『授業での指導のしやすさ』と『主体的・対話的で深い学びの必要性』に関連性が見込まれる小学校理科の学習内容は「水溶液の性質」、「燃焼の仕組み」、「金属、水、空気と温度」、「空気と水の性質」などの物質領域と、その他エネルギー領域の多くの学習内容であった。「水溶液の性質」では回答者数25人のうち80.0%が授業で指導しやすいと感じる理由として「実験観察が行いやすい」を選択した。「燃焼の仕組み」では、回答者数38人のうち71.1%が授業で指導しやすいと感じる理由として「実験観察が行いやすい」を選択した。「金属、水、空気と温度」では、回答者数21人のうち85.7%が授業で指導しやすいと感じる理由として「実験観察が行いやすい」を選択した。「空気と水の性質」では、回答者数35人のうち68.6%が授業で指導しやすいと感じる理由として「実験観察が行いやすい」を選択した。したがって、物質領域の「水溶液の性質」、「燃焼の仕組み」、「金属、水、空気と温度」、「空気と水の性質」の全てで、「実験観察が行いやすい」ために授業で指導しやすいと感じることが、「多様な考え方があり話し合いやすい」ために主体的・対話的で深い学びが実践できている（実施が必要だと思われる）ことにつながると考えられる。

Q 授業で指導しやすい（児童生徒が理解しやすい）と感じる学習内容とその理由を挙げてください。（小学校理科）（D-4）

Q 既に主体的・対話的で深い学びが実践できている学習内容、またこれから実施が必要だと思われる学習内容とその理由を挙げてください。（小学校理科）（D-9）





※このページの棒グラフの模様は、67ページのグラフの凡例に記載されている領域の模様に対応しています。

DATA4-⑥ 主体的・対話的で深い学びが実践できている（実施が必要だと思われる）学習内容との関連性について（中学校理科）

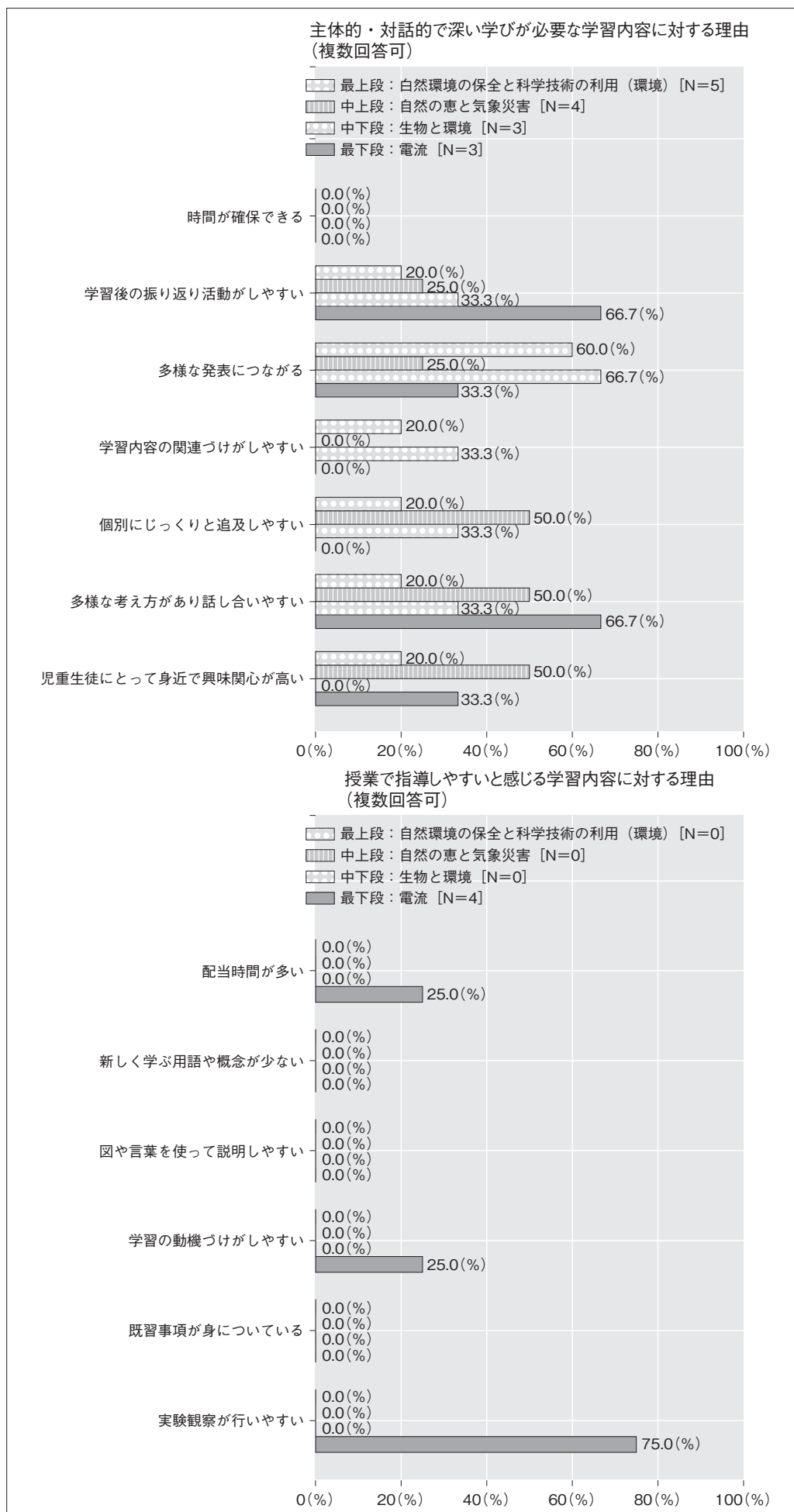
回答者数28人に対して反応率14.3%以上であった「中学校理科で主体的・対話的で深い学びが必要な学習内容」のうち、「自然環境の保全と科学技術の利用（環境）」が17.9%、「自然の恵みと気象災害」が14.3%であった。その理由として、「自然環境の保全と科学技術の利用（環境）」では、回答者数5人のうち3人（60.0%）が「多様な発表につながる」を選択した。「自然の恵みと気象災害」では、回答者数4人のうち2人（50.0%）が「個別にじっくりと追及しやすい」、「多様な考え方があり話し合いやすい」、「児童生徒にとって身近で興味関心が高い」を選択した。

『授業での指導のしやすさ』と『主体的・対話的で深い学びの必要性』に関連性が見込まれる中学校理科の学習内容」として統計的に有意なものはみられなかった。

Q 授業で指導しやすい（児童生徒が理解しやすい）と感じる学習内容とその理由を挙げてください。（中学校理科）（D-4）

Q 既に主体的・対話的で深い学びが実践できている学習内容、またこれから実施が必要だと思われる学習内容とその理由を挙げてください。（中学校理科）（D-9）





※このページの棒グラフの模様は、70ページのグラフの凡例に記載されている領域の模様に対応しています。

DATA4-⑦ デジタル教材の利用で理解度が高まると感じる学習内容との関連性について（小学校理科）

回答者数246人に対して反応率8.1%以上であった「小学校理科でデジタル教材の活用が有効な学習内容」のうち、「人の体のつくりと働き」が22.4%、「月と星」が21.5%、「月と太陽」が19.1%、「動物の誕生」が17.5%であった。その理由として、「人の体のつくりと働き」では、回答者数55人のうち80.0%が「図や音声や動画を使って説明しやすい」を選択した。「月と星」では、回答者数53人のうち83.0%が「図や音声や動画を使って説明しやすい」を選択した。「月と太陽」では、回答者数47人のうち67.4%が「図や音声や動画を使って説明しやすい」を選択した。「動物の誕生」では、回答者数43人のうち69.8%が「図や音声や動画を使って説明しやすい」を選択した。したがって、地球領域の「月と星」、「月と太陽」及び生命領域の「人の体のつくりと働き」、「動物の誕生」の全てで、「図や音声や動画を使って説明しやすい」ことが、デジタル教材の利用で理解度が高まると感じる主な理由となっていることがわかる。

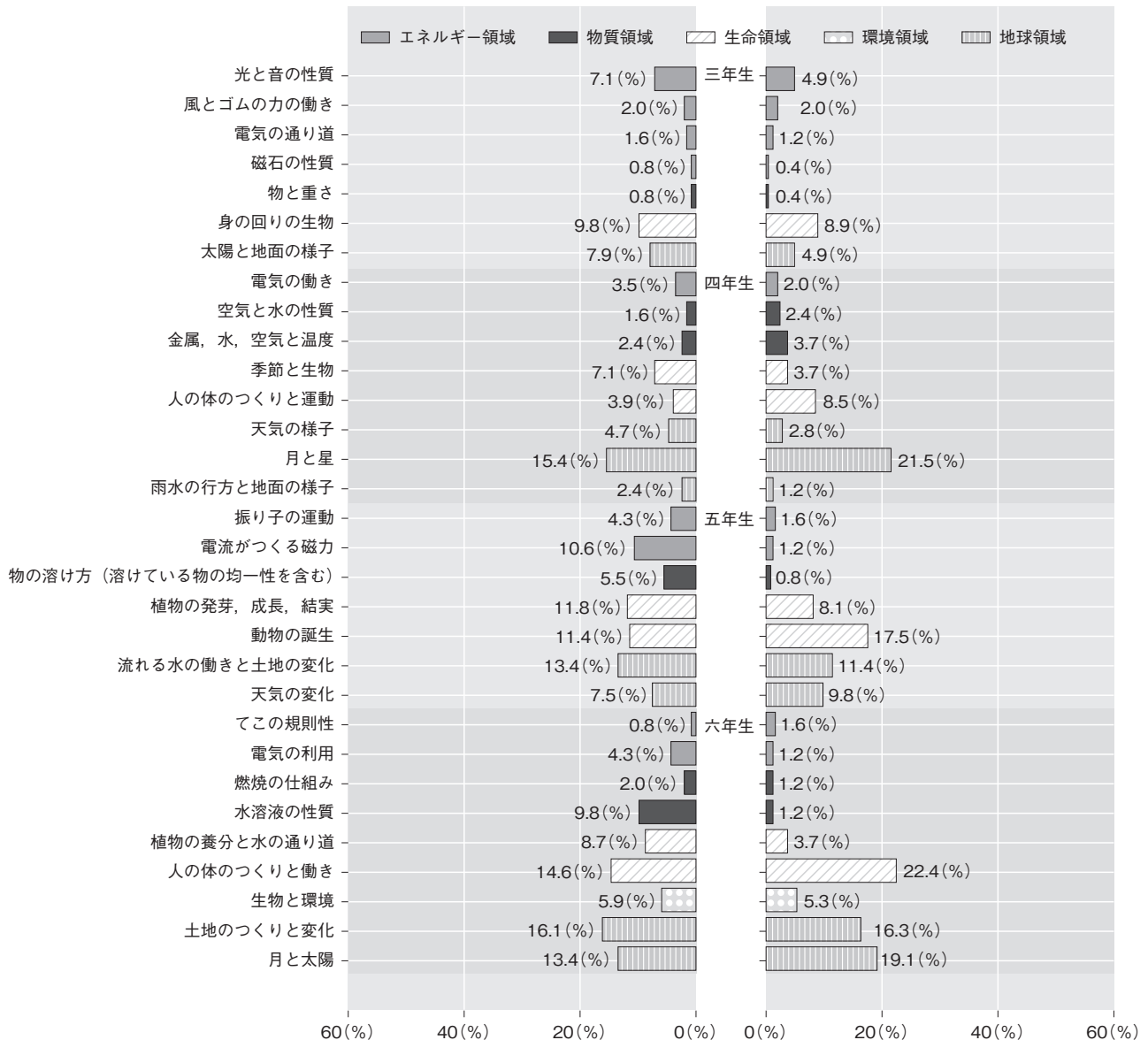
『授業での指導のしにくさ』と『デジタル教材の有効活用』に関連性が見込まれる小学校理科の学習内容は「人の体のつくりと働き」、「月と星」、「月と太陽」など生命領域と地球領域の学習内容であった。「人の体のつくりと働き」では、回答者数37人のうち51.4%が授業で指導しにくいと感じる理由として「実験観察が行いにくい」を選択した。「月と星」では、回答者数39人のうち87.2%が授業で指導しにくいと感じる理由として「実験観察が行いにくい」を選択した。「月と太陽」では、回答者数34人のうち79.4%が授業で指導しにくいと感じる理由として「実験観察が行いにくい」を選択した。したがって、生命領域の「人の体のつくりと働き」や地球領域の「月と星」、「月と太陽」では、「実験観察が行いにくい」ために授業で指導しにくいと感じることが、「図や音声や動画を使って説明しやすい」ためにデジタル教材で理解度が高まると感じることに繋がると考えられる。

Q 授業で指導しにくい（児童生徒が理解しにくい）と感じる学習内容とその理由を挙げてください。（小学校理科）（D-5）

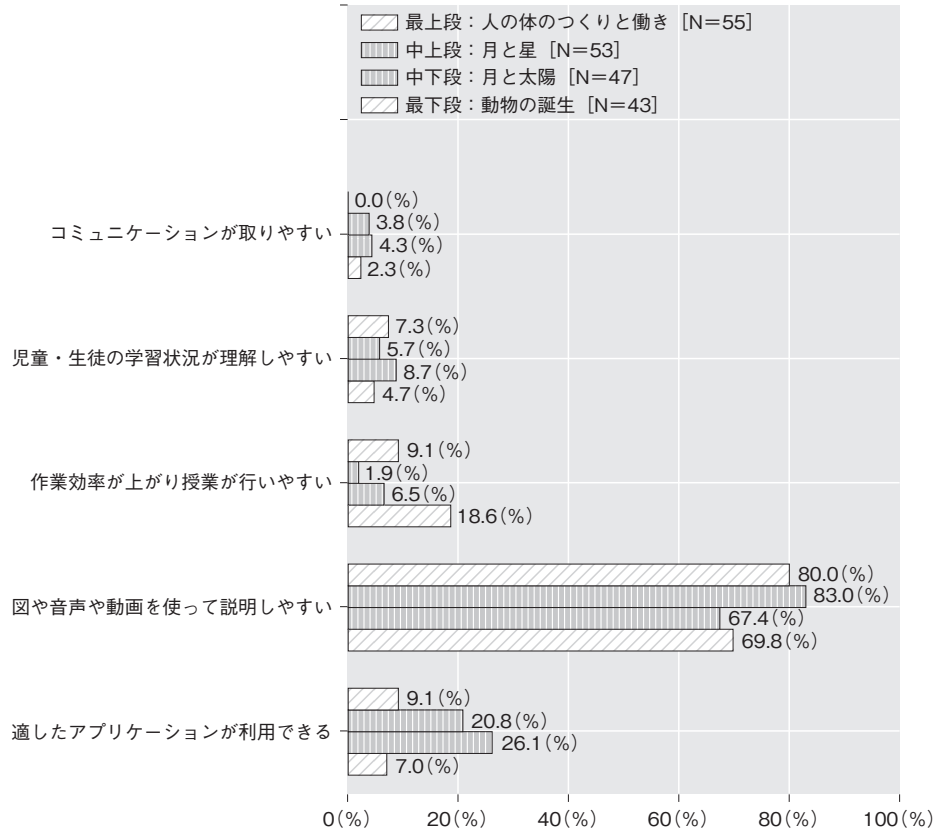
Q デジタル教材を利用すると理解度が高まると感じる学習内容とその理由を挙げてください。（小学校理科）（D-12）

授業で指導しにくいと感じる学習内容
(上位 3 つまで複数回答可) [N=254]

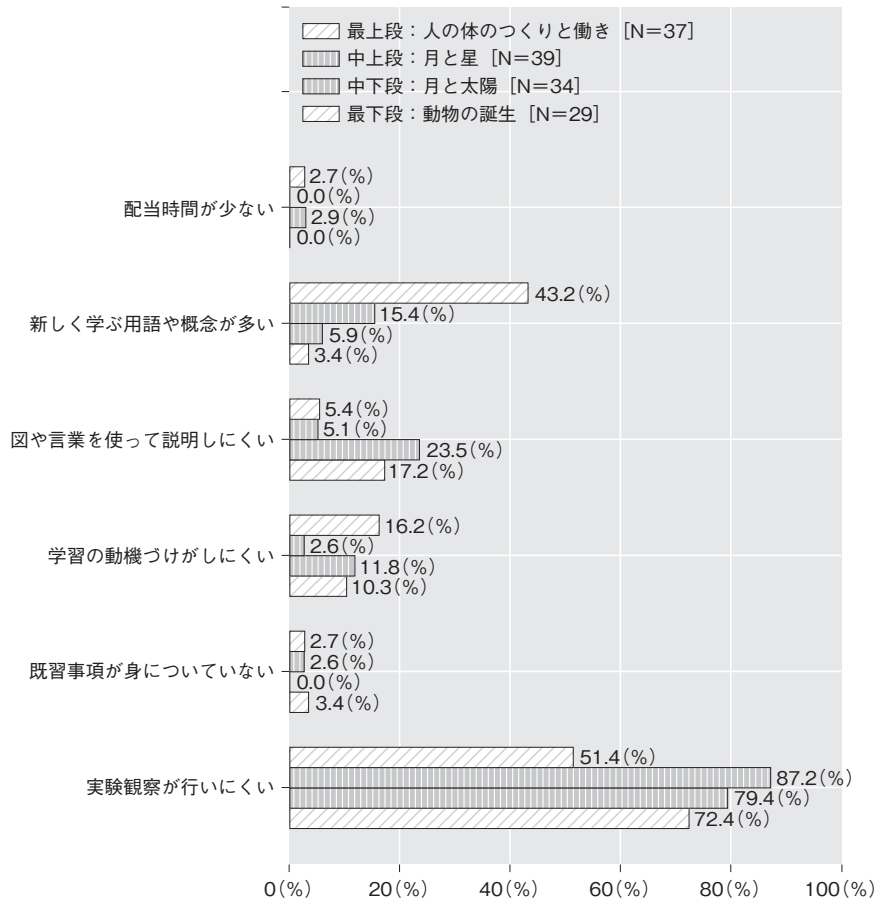
デジタル教材の利用で理解度が高まると感じる学習内容
(上位 3 つまで複数回答可) [N=246]



デジタル教材の利用で理解度が高まると感じる学習内容に対する理由
(複数回答可)



授業で指導しにくいと感じる学習内容に対する理由
(複数回答可)



※このページの棒グラフの模様は、74ページのグラフの凡例に記載されている領域の模様に対応しています。

DATA4-⑧ デジタル教材の利用で理解度が高まると感じる学習内容との関連性について（中学校理科）

回答者数29人に対して反応率13.8%以上であった「中学校理科でデジタル教材の活用が有効な学習内容」のうち、「天体の動きと地球の自転・公転」が41.4%、「太陽系と恒星」が31.0%、「天気の変化」が20.7%、「日本の気象」が13.8%であった。その理由として、「天体の動きと地球の自転・公転」では、回答者数12人のうち58.3%が「適したアプリケーションが適用できる」を選択し、50.0%が「図や音声や動画を使って説明しやすい」を選択した。「太陽系と恒星」では、回答者数9人のうち88.9%が「図や音声や動画を使って説明しやすい」を選択した。「天気の変化」では、回答者数6人全員が「図や音声や動画を使って説明しやすい」を選択した。「日本の気象」では、回答者数4人全員が「図や音声や動画を使って説明しやすい」を選択した。したがって、地球領域の「天体の動きと地球の自転・公転」、「太陽系と恒星」、「天気の変化」、「日本の気象」の全てで、「図や音声や動画を使って説明しやすい」ことが、デジタル教材の利用で理解度が高まると感じる主な理由となっていると考えられる。

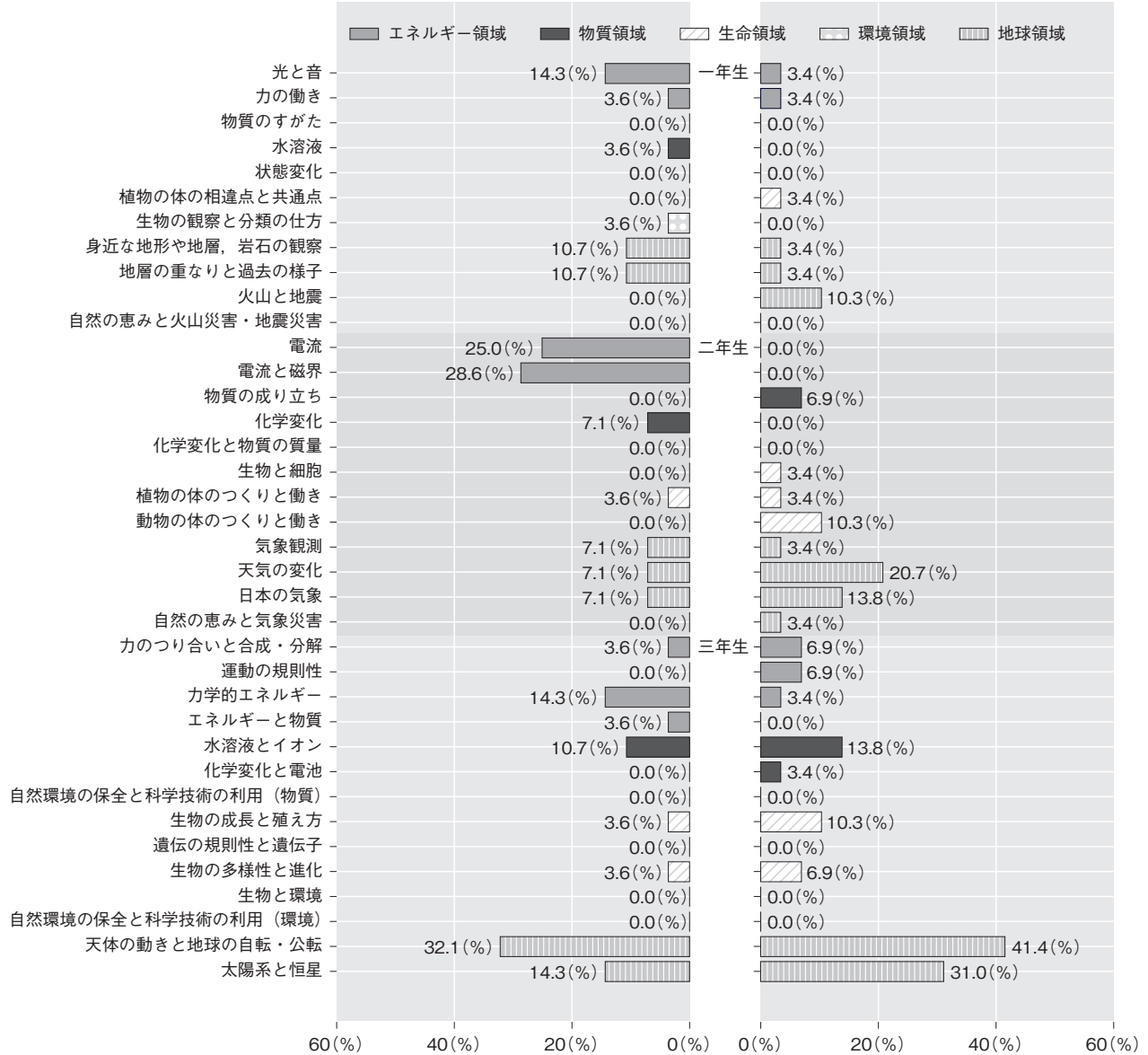
「『授業での指導のしにくさ』と『デジタル教材の有効活用』に関連性が見込まれる中学校理科の学習内容」は「天体の動きと地球の自転・公転」及び「太陽系と恒星」であった。「天体の動きと地球の自転・公転」では回答者数9人のうち66.7%が授業で指導しにくいと感じる理由として「実験観察が行いにくい」を選択した。「太陽系と恒星」では回答者数4名のうち75.0%が授業で指導しにくいと感じる理由として「実験観察が行いにくい」を選択した。したがって、地球領域の「天体の動きと地球の自転・公転」や「太陽系と恒星」では、「実験観察が行いにくい」ために授業で指導しにくいと感じることが、「図や音声や動画を使って説明しやすい」ためにデジタル教材で理解度が高まると感じることに繋がると考えられる。

Q 授業で指導しにくい（児童生徒が理解しにくい）と感じる学習内容とその理由を挙げてください。（中学校理科）（D-5）

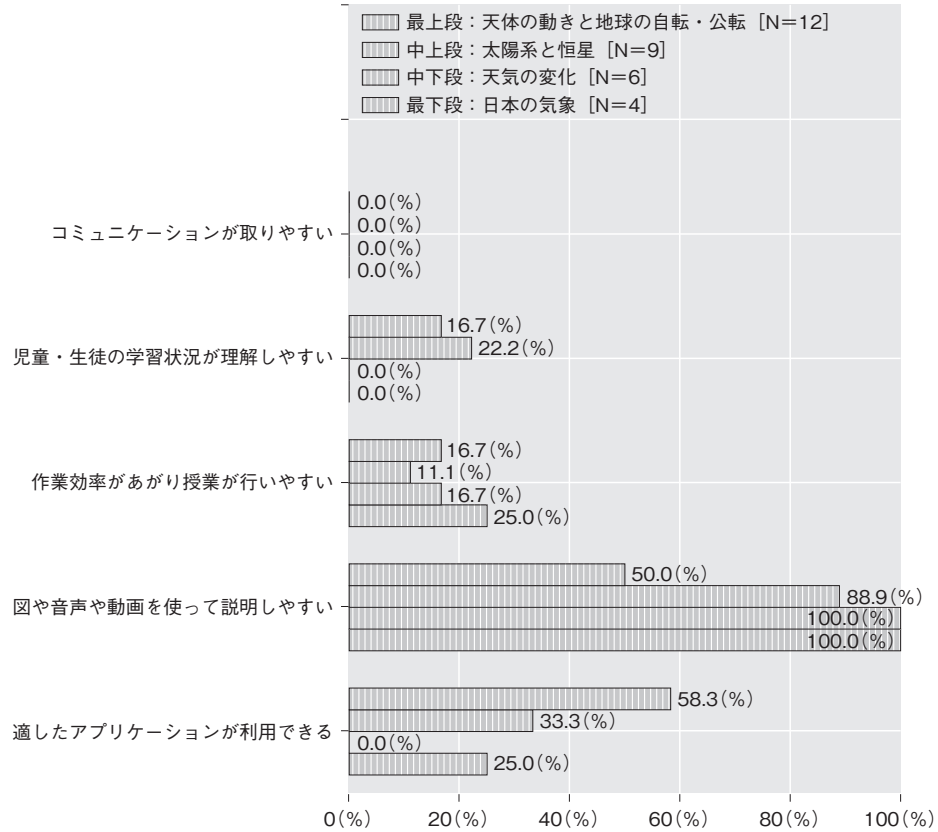
Q デジタル教材を利用すると理解度が高まると感じる学習内容とその理由を挙げてください。（中学校理科）（D-12）

授業で指導しにくいと感じる学習内容
(上位 3 つまで複数回答可) [N=28]

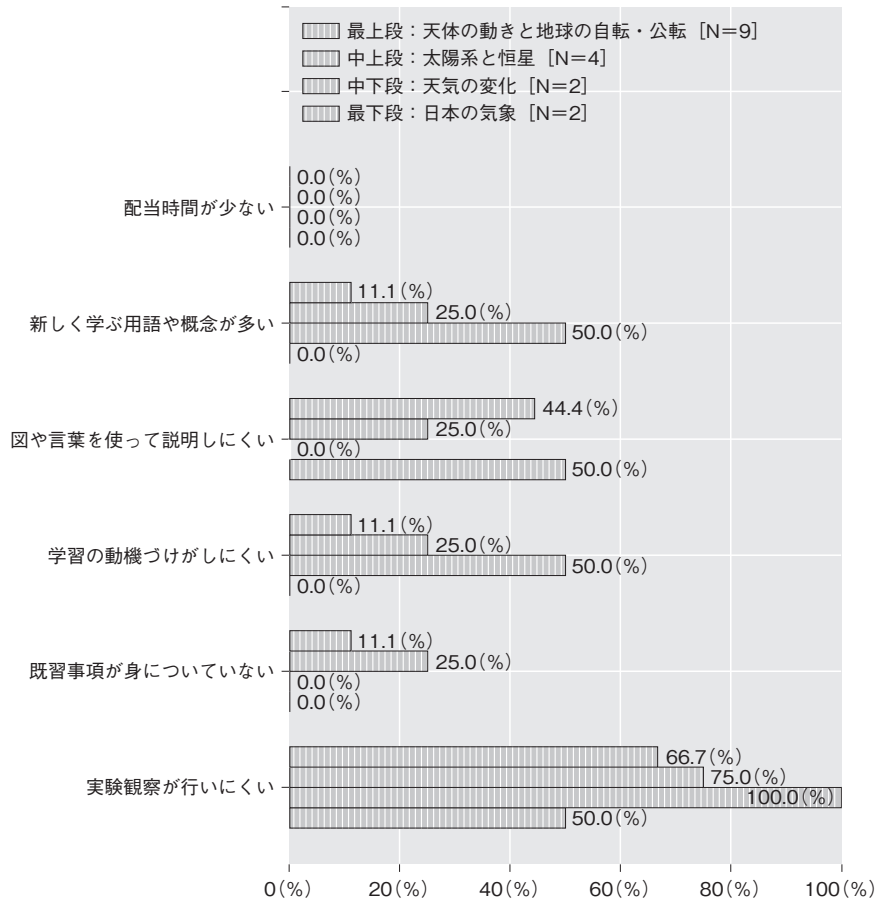
デジタル教材の利用で理解度が高まると感じる学習内容
(上位 3 つまで複数回答可) [N=29]



デジタル教材の利用で理解度が高まると感じる学習内容に対する理由
(複数回答可)



授業で指導しにくいと感じる学習内容に対する理由
(複数回答可)



※このページの棒グラフの模様は、76ページのグラフの凡例に記載されている領域の模様に対応しています。